

事業所名

びいちゃむ・第2びいちゃむ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

24日

法人（事業所）理念		多様な人の笑顔のために、共に考え、共に生きる。					
支援方針		お客様にとって家庭と同じように安心して過ごせる居場所づくりをテーマにしております。その中で、将来自立して行えることが増えるように、一人ひとりの発達段階に合わせて、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などのサポート内容を考えていきます。お客様と支援者が楽しみや安心感を共有できる雰囲気の中で、自ら好きなものを選び楽しめる活動も行っていきます。保護者の方々と共に考えながら、発達を促せるよう無理のない計画を立て実施します。					
営業時間		8時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の仕方やお願いの仕方等を生活場面・他者との関りの中で必要となる生活スキルを支援します。</li> <li>活動後、飲食前には手洗い習慣ができるように促します。手洗いが難しい場合は、清拭・手指消毒を行います。</li> <li>トイレトレーニングを行います。</li> <li>遊びの後には、お片付けができるよう声掛け・支援します。</li> <li>楽しく食事ができるよう、咀嚼・嚥下・姿勢保持・自助具等に関する支援を行います。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の基本的動作を確認しながら、改善や習得、体の使い方の提案や筋力の維持や強化を図ります。</li> <li>室内での軽い運動、屋外でのお散歩、音楽に合わせてダンス、手遊びを通して、体を動かす習慣作りを行います。</li> <li>感覚に特性のある方へは、静かな環境設定等、配慮していただきます。必要に応じて個別対応を行います。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>カレンダーで日付や曜日、時計で時間の確認を行い、日付や時間認識ができるように支援していきます。</li> <li>言葉での説明の理解が難しい場合は、活動の内容やスケジュールを文字やイラストにして、視覚支援を行います。</li> <li>季節の変化を感じられるような活動やイベントを行っていきます。</li> <li>ブロック遊びを通して空間把握ができるようにしていきます。</li> </ul>					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの発達段階に合わせて、言葉や文章を使って会話ができるように支援します。</li> <li>必要に応じて文字やイラストでの視覚支援、身振り手振り、ジェスチャー等の非言語的コミュニケーションを用いて相互理解をはかります。</li> <li>絵本の読み聞かせやテーマに沿った会話により言語の獲得や相手の話を聞こうとする力を育てます。</li> <li>自分の気持ちを表出できるよう、個別にお話をする時間を作り、フィードバックしていきます。</li> </ul>					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部の施設利用を通じて、いろいろな経験を積めるように支援していきます。</li> <li>運動遊びやトランプ等遊びを通じて、ルールを理解する力、言葉を理解する力、他者と協力する力を養います。</li> <li>将来のことを考えながら卒業後に利用できる事業所等の見学を行います。</li> </ul>					
家族支援		保護者面談（随時）・関係機関との連携・子育て支援相談等			移行支援		進学先、進路先との情報共有・進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携		各関係各所との連絡事項の共有・ケース会議等の連携・福祉協議会への参加			職員の質の向上		入職時研修（採用後2か月以内に実施）・継続研修（年に4～5回実施）・外部研修等（随時）
主な行事等		土曜日・長期休暇時にイベントを開催。（調理・制作・公共施設への外出・季節の催し・避難訓練など）					